

平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ディーエムエス  
 コード番号 9782 URL <http://www.dmsip.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山本 克彦

問合せ先責任者 (役職名) 経理部部長代理

(氏名) 橋本 竜毅

四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日

TEL 03-3293-2961

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	5,421	17.6	221	41.1	220	40.3	154	32.2
28年3月期第1四半期	4,610	6.6	156	△32.6	157	△30.4	117	△16.2

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 121百万円 (△8.1%) 28年3月期第1四半期 131百万円 (△7.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
29年3月期第1四半期	26.56	—
28年3月期第1四半期	20.09	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
29年3月期第1四半期	13,732	9,223	67.2	1,583.86
28年3月期	13,710	9,189	67.0	1,578.04

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 9,223百万円 28年3月期 9,189百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
28年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0.00	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	10,202	5.3	362	2.0	352	0.5	246	0.0	42.24
通期	22,004	4.2	1,104	5.5	1,084	5.2	722	5.0	123.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期1Q	7,262,020 株	28年3月期	7,262,020 株
29年3月期1Q	1,438,859 株	28年3月期	1,438,859 株
29年3月期1Q	5,823,161 株	28年3月期1Q	5,823,209 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績や景況感に足踏み状態が見られましたが、政府および日本銀行の継続的な経済対策や金融政策を背景として雇用・所得環境の改善傾向は続き、緩やかながらも回復基調で推移しました。

当社グループ（当社および当社の子会社）に関連する広告業界におきましても、こうした状況を反映し、総広告費では緩やかな改善傾向が続きました。

このようななか当社は、ダイレクトメール、セールスプロモーション、イベントといった顧客企業にとっての手段を提供するだけでなく、それらを使って「ユーザーともっとよい関係を作りたい」、「より多くの商品・サービスをご利用いただきたい」といった顧客企業にとっての「売れる仕組みづくり」の支援を目指しております。

こうした取り組みのもと、営業部門では、課題解決提案型の活動を推進し、新規顧客開拓と既存顧客との取引拡大を積極的に展開してまいりました。また現業部門では、情報処理や生産・品質管理の技術を高めるとともに、先端的なデジタルプリンタやメーリングマシンを駆使し、業務効率の向上により利益貢献をしてまいりました。また、川島ロジスティクスセンターを中心として物流事業の拡大に注力するとともに、業務領域の拡大とサービスの付加価値を創る「マーケティングサービスの強化」、「Web・モバイルマーケティングサービスの開発」といった戦略的な課題にも取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当四半期連結累計期間の売上高は、54億21百万円（前年同期比17.6%増）となりました。営業利益は、2億21百万円（同41.1%増）となりました。経常利益は、営業外収益が8百万円（同29.4%減）、営業外費用が8百万円（同21.4%減）となった結果、2億20百万円（同40.3%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、税金費用を66百万円としたことにより1億54百万円（同32.2%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①ダイレクトメール部門

企画制作から情報処理、封入封緘を一括して手がけるトータルサービスと郵便やメール便のスケールメリットを活かした提案型営業を積極的に展開した結果、売上高は既存先からの受注増や新規先の獲得によって、50億33百万円（同20.1%増）、セグメント利益は3億2百万円（同31.4%増）となりました。

#### ②セールスプロモーション部門

各種販促支援および企画制作業務に注力した結果、売上高は2億41百万円（同1.7%減）となりました。一方、セグメント利益は飲料系販促キャンペーン業務を始めとした各種の販促支援業務などの貢献によって34百万円（同32.5%増）となりました。

#### ③イベント部門

販売促進・観光振興・スポーツイベントなどの運営・警備業務に注力したものの、前年同期に実施された観光振興イベントの反動により売上高は1億22百万円（同18.6%減）、セグメント損失は1百万円（前年同期セグメント利益5百万円）となりました。

#### ④貸貸部門

千代田小川町クロスタビル（東京都千代田区）等の売上高は18百万円（同4.2%減）、セグメント利益は4百万円（同15.4%減）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産の状況

当四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べて主に現金及び預金が1億43百万円増加しましたが、売上債権が51百万円、仕掛品が24百万円それぞれ減少したことにより、全体として58億39百万円（前連結会計年度末比60百万円増）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定資産は、前連結会計年度末に比べて主に建設仮勘定が85百万円増加しましたが、減価償却費の計上等で有形固定資産、無形固定資産および投資不動産が29百万円、保有債券の満期償還などで投資有価証券が91百万円それぞれ減少したことにより、全体として78億91百万円（同37百万円減）となりました。

当四半期連結会計期間末の繰延資産は、社債発行費が2百万円（同781千円減）となりました。

その結果、資産合計では、137億32百万円（同21百万円増）となりました。

②負債の状況

当四半期連結会計期間末の流動負債は、前連結会計年度末に比べて主に仕入債務が1億44百万円、賞与引当金が1億14百万円それぞれ増加しましたが、未払法人税等が1億8百万円、前受金が78百万円、一年以内返済長期借入金が43百万円それぞれ減少したことにより、全体として29億48百万円（同33百万円増）となりました。

当四半期連結会計期間末の固定負債は、前連結会計年度末に比べて主に長期借入金が21百万円、長期リース債務が8百万円、繰延税金負債が14百万円減少したことにより、全体として15億61百万円（同45百万円減）となりました。

その結果、負債合計では、45億9百万円（同12百万円減）となりました。

③純資産の状況

当四半期連結会計期間末の純資産は、主に利益剰余金では親会社株主に帰属する四半期純利益1億54百万円の計上と配当87百万円を支払ったことにより、差し引きで前連結会計年度末に比べて67百万円の増加となりました。そのほか、株式市場等の下落を受けてその他有価証券評価差額金が35百万円（税効果分は除く）減少したことにより、全体として92億23百万円（同33百万円増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月9日発表の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備および構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第一四半期連結累計期間の営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響額は軽微であります。

(2) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,424,492	1,567,649
受取手形及び売掛金	3,079,288	3,028,252
仕掛品	847,107	822,262
立替郵送料	70,814	82,596
繰延税金資産	106,917	132,847
その他	276,151	235,080
貸倒引当金	△25,773	△29,367
流動資産合計	5,778,997	5,839,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,469,977	2,439,153
機械装置及び運搬具(純額)	503,759	523,625
土地	2,830,100	2,830,100
リース資産(純額)	77,811	68,526
建設仮勘定	16,185	101,185
その他(純額)	62,336	60,068
有形固定資産合計	5,960,170	6,022,659
無形固定資産	49,643	47,696
投資その他の資産		
投資有価証券	586,766	495,239
投資不動産(純額)	887,857	882,559
その他	454,981	453,460
貸倒引当金	△10,610	△10,610
投資その他の資産合計	1,918,994	1,820,649
固定資産合計	7,928,809	7,891,005
繰延資産		
社債発行費	2,898	2,116
繰延資産合計	2,898	2,116
資産合計	13,710,705	13,732,443

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,625,102	1,769,263
1年内償還予定の社債	65,150	42,650
短期借入金	204,550	172,800
リース債務	42,788	39,208
未払法人税等	214,114	105,885
賞与引当金	214,909	329,377
その他	548,198	489,079
流動負債合計	2,914,812	2,948,263
固定負債		
社債	277,100	272,025
長期借入金	851,500	829,800
リース債務	60,452	52,282
退職給付に係る負債	218,894	221,955
役員退職慰労引当金	50,030	51,179
繰延税金負債	88,614	73,744
再評価に係る繰延税金負債	18,327	18,327
その他	41,758	41,786
固定負債合計	1,606,677	1,561,100
負債合計	4,521,490	4,509,364
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,092,601	1,092,601
資本剰余金	1,468,215	1,468,215
利益剰余金	7,927,690	7,995,025
自己株式	△582,792	△582,792
株主資本合計	9,905,714	9,973,048
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	162,405	126,978
土地再評価差額金	△814,388	△814,388
退職給付に係る調整累計額	△64,516	△62,559
その他の包括利益累計額合計	△716,499	△749,969
純資産合計	9,189,215	9,223,079
負債純資産合計	13,710,705	13,732,443

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,610,527	5,421,108
売上原価	4,172,510	4,910,777
売上総利益	438,016	510,331
販売費及び一般管理費	281,195	289,013
営業利益	156,820	221,318
営業外収益		
受取利息	337	219
受取配当金	4,942	5,661
雑収入	6,326	2,317
営業外収益合計	11,606	8,197
営業外費用		
支払利息	10,149	7,811
その他	782	782
営業外費用合計	10,931	8,594
経常利益	157,495	220,922
特別損失		
固定資産除却損	714	0
特別損失合計	714	0
税金等調整前四半期純利益	156,780	220,922
法人税、住民税及び事業税	65,331	93,804
法人税等調整額	△25,573	△27,564
法人税等合計	39,758	66,240
四半期純利益	117,022	154,682
親会社株主に帰属する四半期純利益	117,022	154,682



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益	117,022	154,682
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	16,962	△35,427
退職給付に係る調整額	△2,028	1,956
その他の包括利益合計	14,933	△33,470
四半期包括利益	131,956	121,211
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	131,956	121,211
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	4,190,394	245,612	150,150	19,129	4,605,287	5,239	4,610,527
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	30	30	77	107
計	4,190,394	245,612	150,150	19,159	4,605,317	5,316	4,610,634
セグメント利益	229,965	26,085	5,564	4,848	266,464	2,986	269,451

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	266,464
「その他」の区分の利益	2,986
セグメント間取引消去	△107
全社費用(注)	△112,523
四半期連結損益計算書の営業利益	156,820

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイレクト メール部門	セールス プロモーション 部門	イベント 部門	賃貸部門	計		
売上高							
外部顧客への売上高	5,033,981	241,352	122,240	18,330	5,415,904	5,204	5,421,108
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	30	30	96	126
計	5,033,981	241,352	122,240	18,360	5,415,934	5,301	5,421,235
セグメント利益又は損 失(△)	302,279	34,563	△1,297	4,103	339,649	3,158	342,807

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、家電製品販売を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	339,649
「その他」の区分の利益	3,158
セグメント間取引消去	△126
全社費用(注)	△121,362
四半期連結損益計算書の営業利益	221,318

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。